



アメリカの二大政党制を破壊するトランプ弾劾

米上下両院が全国選挙人選出証明の集計から次期大統領を決める1月6日、不正選挙によって選ばれるバイデン大統領を阻止しようとのトランプの呼びかけに応じてトランプ支持者が全米からワシントンに集結、大規模なデモになったが、デモの一部が暴徒化し、議事堂内に乱入するという前代未聞の事態となった。

CNN やニューヨークタイムスなど主要メディアは、丁度セプテンバーイレブンの時の様に議事堂内の乱闘の映像を繰り返し流し、トランプ大統領が暴動を煽ったと報道した。(実際は民主党支援の諜報機関のエージェントがデモを暴動化し議事堂へ誘導した)

トランプが嵌められたことに気が付き、デモを中止して家に帰れと言ったが、時遅しであった。

民主党は予定通り1月13日デモの議会乱入の責任はトランプにありとして下院で弾劾訴追を決議した。

来週から上院で弾劾訴追の審議が行われる。

上院でトランプ弾劾が成立するには3分の2の賛成が必要なので共和党議員50名中17名が賛成に回らなくてはならない。

従ってトランプ弾劾訴追を決めるのは民主党ではなく共和党である。

上院の院内総務ミッチ・マコーネルや下院の院内総務ケビン・マッカーシーは4年後の大統領選でトランプでは戦えないと考え、民主党に協力してトランプを消すことを考えているが、一方根強いトランプ支持議員も多く、トランプ弾劾は共和党を二分する。

反トランプのミット・ロムニーやトランプと大統領選指名を争ったマルコ・ルビオなどがいるがトランプのように7,000万人を超える有権者支持は得られない。

共和党主流派はトランプ前のように二大政党制復活で談合体制を望んでいるが、他はトランプと協力して、裁判所が駄目なら全米を「草の根」で不正選挙を徹底的に暴いて4年後の正義の選挙に繋げることを望んでいるが、そうすると民主党左翼戦闘グループが戦闘を挑んでくる。

トランプを生かせば内乱になり、バイデンの新法国内テロ防止法で共和党は戦う力を失い壊滅に向かい、民主との談合体制を選べば少数野党に転落し、共和党与党のチャンスは永遠に無くなる。

バイデン政権は大きな政府に向かっている。

誰が戦艦アメリカの艦長を一人にしようとしているのか、そしてそれは何故か。

「増田塾」でしっかり勉強して下さい。

20日から始まった「増田塾」は今日で3日目。

既に講義数は23になっています。

毎回変化する株式市場動向をお伝えしています。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法: Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン(株) Tel: 03-3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 1月21日(木) No. 1042 バイデン就任お祝い相場
- 1月19日(火) No. 1041 外資のいたずら
- 1月18日(月) No. 1040 今週が買い場
- 1月15日(金) No. 1039 来週が買い場

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。